

いしかわ

大百科



まなびの心
かがやく人生

番組へのご意見は…

- 石川県教育委員会事務局生涯学習課
☎ (076)225-1836
- テレビ金沢 報道制作局制作部
☎ (076)240-3344



放送予定表

平成28年後期10月～3月 手話通訳つき放送

テレビ金沢 日曜午前 7:00～7:30

提供/石川県教育委員会 企画・制作/テレビ金沢

シリーズ・きらめくアイデア～モノづくりにかける～ (全15回)

薫り高い伝統を誇る石川県には魅力ある商品開発やモノづくりに情熱を注いでいる人たちがいます。全国にその名が知られるほどの人気を得ていたり、私たちの暮らしを豊かにしてきた商品の誕生秘話やこだわりをひもときながら、石川の今を熱く生きる人たちに注目していきます。

第8回 10月9日(日)放送 太古からの贈り物～能登の珪藻土～

1500万年の長い年月をかけて能登の自然が作り出した珪藻土は1000度の高熱にも耐えるだけでなく、保湿性や軽さなどに優れ、輪島塗を頑丈に仕上げる地の粉や珠洲市と七尾市で製造されている七輪やピザ窯などに使われています。能登珪藻土研究会では地元企業と連携して珪藻土の新たな魅力を発信しています。

第9回 10月30日(日)放送 きらめく芳醇な雫～能登が育むワイン～

初出荷から10年を迎えた能登ワイン(穴水町)は独自に改良した「ヤマソーヴィニヨン」種のぶどう作りに成功し、「国産ワインコンクール」で2008年の初出品から毎年のように受賞を重ねるなど上質のワインを手がけてきました。能登の大地が詰まった芳醇なワイン作りは新たな10年を迎えてさらに進化しようとしています。

第10回 11月20日(日)放送 自然を彩る～能登染～

能登ヒバや葛など能登の山野に自生する植物や海の生物を使って自然の色をひきだす「能登染」。熊野工芸工房(志賀町)では従来の草木染とはひと味もふた味も違う風合いを見せています。また手染めや椿姫(珠洲市)はアカニシガイや海藻など海の生き物を活かして染め上げ、能登の自然の素晴らしさを伝えています。

第11回 12月11日(日)放送 ふるさとに元気を!～能美柚ゆうゆう倶楽部～

能美市の国造地区で古くから栽培されてきた「国造ゆず」を地域内外の人に知ってもらおうと「ゆずドリンク」などの商品開発や「ゆずレシピコンテスト」、「ゆず婚活イベント」などの普及活動を行っている「能美柚ゆうゆう倶楽部」は、地元の生産者や有志らで結成され、地域に元気をもたらしています。

第12回 1月22日(日)放送 職人技を暮らしに～左官で商品開発～

城下町金沢に似合う土壁をアートの世界に取り入れた「左官アート額」(イスルギ/金沢市)は海外からも注目を集めました。左官職人の確かな技と土へのこだわりは爆発的にヒットしているバスマット「soil(ソイル)」や左官家具「monolith(モノリス)」など新たな商品開発につながっています。

第13回 2月12日(日)放送 世界とコラボ～加賀縫～

色とりどりの糸を使い立体的な図柄が浮かぶ「加賀縫」は文化の薫り高く、また信心深い土地柄である加賀地方で独自の発展を遂げてきました。その伝統の技は現在、世界のトップブランドとのコラボレーションも果たし、新たな発展を遂げています。

第14回 3月5日(日)放送 かがやく磁器～白き九谷～

青手や彩色金襴手など360年の伝統を誇る九谷焼は赤・黄・緑・紫・紺青の五彩からなるものですが、近年、九谷焼の産地では上絵や染付をしない真っ白な生地によるスタイリッシュな商品が誕生しています。土の精製技術により実現した白き九谷は新たな魅力を醸し出しています。

第15回 3月26日(日)放送 春の女神～エアリーフローラ～

2012年12月にデビューした石川県オリジナル品種「エアリーフローラ」。一般的な黄色だけではなく全部で7色、また一重咲きも八重咲きもあり、これまでのイメージを変えたフリージアは、開花の最盛期が卒業や入学など新たな旅立ちの時期と重なって石川県の春を彩ります。

(都合により放送順序・放送時間が変わることもあります。)
県民大学校については石川県立生涯学習センターまで、お問い合わせ下さい。
〒920-0935 金沢市石引4丁目17番1号 石川県本多の森庁舎2階
電話(076)223-9572 FAX(076)223-9585



大百科セレクション・再放送

これまで放送した『いしかわ大百科』で、視聴者から好評をいただいた回を再放送します。

1月5日(日)放送 勸進帳の里～小松市～

平成22年6月20日(日)放送

謡曲や歌舞伎の舞台として全国に知られる安宅の関。毎年市内の小中学生による「お旅まつり(5月)」での「勸進帳」や「曳山子供歌舞伎」の上演など、子どもの頃からふるさとの伝統に触れる機会が設けられ、市民の心に歌舞伎文化が深く根付いていることをうかがわせます。